

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
作詞・作曲 2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	夏野カレン			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
この授業は、オリジナル作品制作とリンクしている。音楽を作るにあたりデジタル的側面とアナログ的側面の両要素におけるアナログ領域を本授業では講義する。講師指導のもと、学生同士で班を作り、共同制作を行いながら、楽曲制作のコンセプトやメロディ・歌詞などのアナログ素材を授業内で作成する。また、楽曲を作り続けていくために必要な知識をTipsを体得することができる。											
到達目標											
共同作品はコーライティング技術が必要で、この技術は音楽能力に加えてコミュニケーション能力も必要になります。本授業では、学生同士が協力しあい、ものづくりの意義、アイデアの大切さ、共作の楽しさ、コミュニケーションの大切さを知ることが目標とする。オリジナル作品制作の授業に楽曲を引き継ぎ、オリジナル曲を増やす。											
授業方法											
作詞、作曲ともにヒット曲からのアナライズによるパターンを知り、応用につながる知識を得る。特にコード進行と作詞の解析を重視し、著名な作詞・作曲家の手法を分析し自身のノウハウとしてストックできるようにポイントを整理していく。											
成績評価方法											
試験30%(知識及び表現を評価する)、授業内発表30%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応し、学生には積極的な受講態度を求める。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布プリント											
回数	授業計画										
第1回	様々な構成を学ぶ										
第2回	ヒット曲のメロディーアナライズと応用方法1										
第3回	様々なリズムを学ぶ										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科

作詞・作曲 2

第4回	ヒット曲のメロディーアナライズと応用方法 2
第5回	様々な転調を学ぶ
第6回	ヒット曲のメロディーアナライズと応用方法 3
第7回	ヒット曲の歌詞アナライズと応用方法 1 メタファーについて
第8回	ヒット曲の歌詞アナライズと応用方法 2
第9回	VIm-IV-V進行、ポップパンク進行
第10回	代理コードツーファイブ
第11回	ペントニックのメロディー
第12回	タイアップを意識した作詞作曲の方法 2
第13回	アルバム制作、ライブを意識した作詞作曲の方法
第14回	テスト対策
第15回	後期、全体まとめ